

安座真港からフェリーで約25分。久高島(くだかじま)は、琉球創世神・アマミキヨが降り立ったとされ、「神の島」と呼ばれています。

神秘の島は多くの人々を魅了し、年間4万人以上の観光客が島へ渡ります(令和4年実績)。

歴代の琉球国王が参拝をしたことからも、その特別な存在感が伺える久高島。島内には聖地が点在し、中には何人も立ち入れない場所もあります。

現在でも祈りの行事が島の人々によって受け継がれている、南城市民にとっても特別な島です。



左上/久高島全景。右上/島の北端「カベール」へ続く道。両脇の植物群落は国指定天然記念物。左下/島に入港するフェリー。右下/海蛇(イラブー)は燻製にし、滋養食として珍重され、国王も食した。

神の島 久高島 Kudakajima

12年に一度執り行われる儀式「イザイホー」は、1978年を最後に後継者不足から中断されている。



Kudaka island is called 'God's Island' because it is believed that Ryukyu's founding deity, Amamikiyo, descended there from Heaven. The island is dotted with sacred sites, some of which are hidden away in locations that are difficult to access. The island is also special to the citizens of Nanjo.



旧暦5月4日には、航海安全と豊漁を願う「ハーリー」(爬竜船競漕)が行われ、權さばきを競う。

海人の島 奥武島 Ojima

奥武島(おうじま)は、本島側と短い橋で結ばれた周囲2 kmほどの島。ドライブコースとして市内外から多くの人々が訪れます。

人気の秘密は、「海人(ウミンチュ)」と呼ばれる漁師たちの活気と港町の独特な風情。旧暦5月4日は海神祭が行われ、航海安全と豊漁を願う「ハーリー」(爬竜船競漕)を見ようと見物客で溢れます。

漁船を使った漁のほか、もずくや海ぶどうの養殖業も盛ん。豊かな海産物を使った天ぷらや海鮮丼を求め、週末は島内の店舗で行列ができるほどです。



左上/奥武島全景。右上/海産物の天ぷら。週末は行列ができるほどの人気。左下/トビイカの天日干しは梅雨明けの風物詩。右下/「いまいゆ市場」では鮮魚が並び。

The secret of Ojima's popularity is the vitality of the fishermen, known as uminchu or, 'sea people', and the unique atmosphere of the port town. In the summer there is a Hari (boat race) festival for the god of the sea to pray for safe voyages and good catches. This is a popular event that attracts many spectators.